

課題情報シート

テーマ名 :	新しい病児保育施設の設計				
担当指導員名 :	村上 有慶	実施年度 :	24 年度		
施設名 :	沖縄職業能力開発大学校				
課程名 :	専門課程	訓練科名 :	住居環境科		
課題の区分 :	総合制作実習	学生数 :	1	時間 :	16 単位 (288h)

課題制作・開発のポイント

【開発（制作）のポイント】

県内でも少数の「病児保育所」を設計します。その独自のコンセプトとプランを提案します。

【訓練（指導）のポイント】

調査から論文読みまで、すべてを一人で行います。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 沖縄職業能力開発大学校
住所 : 〒904-2141 沖縄県沖縄市池原 2 9 9 4 - 2
電話番号 : 098-934-6282 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www3.jeed.or.jp/okinawa/college/>

課題制作・開発の「予稿」および「テーマ設定シート」

次のページ以降に、本課題の「予稿」および「テーマ設定シート」を掲載しています。

新しい病児保育施設的设计～これからの子育て支援を考える～

沖縄職業能力開発大学校 住居環境科

1. はじめに

「病児保育」をテーマとして、これまで保護者アンケートや施設見学、現場や行政からのヒアリングを進めてきた。その結果を考察し、子育て支援の一環としてさらに病児保育が発展していくよう運営システムを作成し、新しい病児保育施設設計を行う。

2. アンケート調査結果からの考察

アンケート調査から、保護者が感じている子育ての問題や、病児保育に対する意見が読み取れた。『病児保育施設に望むこと』として多かった意見が以下の通りである。

- | | | |
|----------|---------|--------|
| ①情報提供 | ②施設増設 | ③費用を安く |
| ④保育園での対応 | ⑤近郊への設置 | など |



Q. 病児保育を知っているか



Q. 病児保育に望むこと

図1. アンケート調査結果

3. 施設見学・ヒアリングからの考察

施設見学の結果から問題点や理想的な施設について考察し、施設設計の参考とする。



写真1. 施設の雰囲気

1) 問題点

- | | | |
|---------|--------|-------|
| ①補助金制度 | ②職員の配置 | ③施設環境 |
| ④認知度の低さ | など | |

2) 理想的な施設

- | |
|----------------------------|
| ①子どもをどこからでも観察できる間取り |
| ②子どもが安心できる雰囲気 |
| ③職員の負担にならない動線になっている |
| ④隔離室・一般観察室それぞれにトイレが設置されている |
| ⑤感染症と一般の出入り口を別にする |
| ⑥清潔を保てる仕上げ材の利用 など |

4. 施設設計と運営システム作り

1) 全体コンセプト

- ①安心・安全・安静・あそびの「4つのA」を中心とする。
- ②200 m²以下で職員と子どもの距離が近い広さとする。
- ③医師・看護師の常駐がある「医療機関併設型」で安心感も高くなる。

2) 設計予定地選定

中部地域の中でも子ども人口が多く、2008(平成20)年に「こどものまち宣言」をした沖縄市に施設設計をすることとする。

沖縄市内の字別子ども人口を比較した結果、37地区中13地区が子ども人口割合20%を超えていることが分かった。その地区のうち現存の中部徳洲会病院がカバーできる市内北西地域を除き、市内南東側の中心部にあたる高原地区を設計予定地に決定した。

3) 基本計画

①配置計画

予定地周辺は生活地域であり、病院・学校・福祉施設がある。そのことから外観は周囲と調和し、ゆとりをもった配置とする。

②平面計画

- ・正方形で死角をなくす間取りとする。
- ・一般外来棟と病児保育室棟を別にし、内部の診察室のみで両棟を行き来する。
- ・感染症とそうでない子供との空間を分けて二次感染を防止する。トイレ・出入口も別に設ける。
- ・子どもが安心できる空間を作る。

③外観および主要室概要

i) 外観



図 2. 外観 CG

積み木のような形とやわらかい色合いでかわいらしく印象に残る。手前が病児保育室棟、奥が一般外来棟。

ii) 主要室概要

どの部屋も段差や死角をなくし、職員がどこからでも子どもの様子が分かる。一般観察室は畳を利用し、子どもが心地よく遊びを展開できる。隔離室は大きなアクリル窓を建具に使用し、閉鎖的にしない。

また、本研究では隔離室を「専用個室」と呼ぶこととする。



図 3. 一般観察室 CG



図 4. 専用個室 CG

iii) その他

その他に一般外来棟・専用個室用トイレ・キッチンなどを設けている。

iv) 平面図

建築面積 180.75 m²・述べ床面積 172.25 m²
医療機関併設型・定員 1~10 名



図 5. 平面図 CG

4) 運営システム

施設は市直轄運営とし、地域かかりつけ医・施設医との連携をもとに、誰でも利用できる施設運営を目指す。

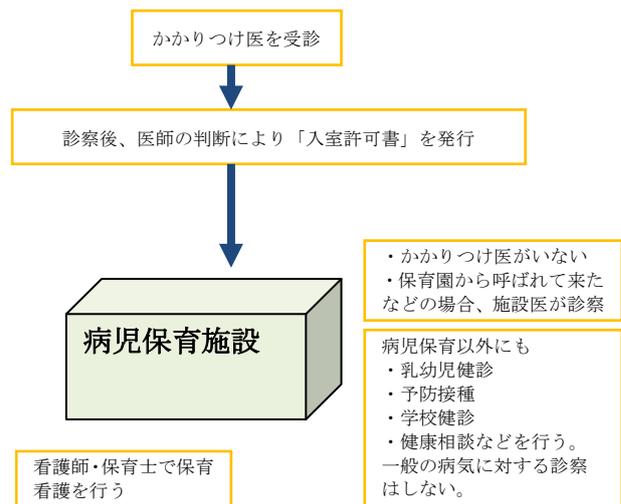


図 6. 運営システムのモデル

5. まとめ

今回の研究を通し、自分自身の身近なテーマである「子育て」をあらためて見直すことができた。また、建築の立場からの提案として施設設計を手掛けたことで、建物とは使う人があってこそそのものであることを再確認した。今後、多くの人たちが病児・病後児保育事業に関心を持ち、施設の増設や制度の充実がなされ、さらなる子育て支援の輪がひろがることを期待したい。

